

財団 広報

2018 No.10

心豊かで夢を持ち、郷土を愛する人を育てる



Fantastic Life Fantastic Foundation

遠野少年少女合唱隊結成 30 周年 遠野市民センターバレエスタジオ設立 40 周年
遠野の伝統文化を歌と舞いに乗せ **10 年後の未来へ**・・・2-3

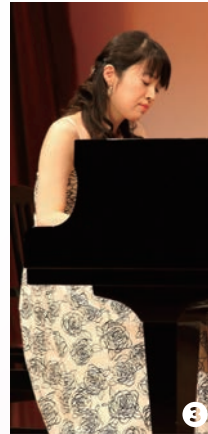
◆アメリカンフェスティバル 2017・・・・・・・・・・4

◆Topics ～とびくす～・・・・・・・・・・5

◆中学生海外派遣交流事業、インフォメーション・・・・・・6

「めざせ！プロ棋士！！」【表紙写真】

当財団では、青少年育成事業の一環で、市内の小中学生を対象に少年少女囲碁・将棋教室を年 8 回開催しています。囲碁や将棋は、自分で考えた戦略で対局できることが醍醐味です。講師から様々な手を教えてもらう子ども達の表情は真剣そのもの。それを応用するため講師陣に果敢に挑んでいきます。1 月 27 日は、本教室最後の活動で大会が開催される予定です。



遠野市民センター *SINCE 1978* バレエスタジオ

40年間で300人を超える生徒を輩出
卒業生はバレエからたくさんの大切なことを学んだ

クラシックバレエと『遠野物語』を融合させた、新しいスタイルのバレエを創り出すため、遠野市民センターバレエスタジオは昭和53年5月に開設しました。今年には開設40周年を迎え、11月26日に記念公演が遠野市民センター大ホールで開催されました。

第1部は、生徒全員によるオープニングから始まり、各クラスの生徒が小品集を披露。それぞれが演技終えるたびに観客からの大きな拍手が

第2部は、昭和56年初演の『遠野物語』第69話「おしらさま」をモチーフとした創作バレエが披露されました。

講師の齋藤真弓氏、ゲストの横内国弘氏、東秀昭氏が娘、白馬、父親それぞれを演じ、さらには長野獅子踊りが舞台上で踊りを繰り広げ、遠野物語の神秘的な世界観を見事に表現しました。

① 緊張感漂う本番直前の舞台裏。生徒は最終チェックに徹していた ② Bクラス生徒による「タイプライター」（小品集）。軽快なステップを刻み壮快に演じた ③ ミドルクラス生徒による「ファウストより」（小品集）。迫力ある舞いを披露し観客の喝采を浴びた ④ Cクラス生徒による「踊る子ねこ」（小品集）。子ねこに扮した可愛い生徒が元気に舞った ⑤ 創作バレエ「おしらさま」より。娘と白馬は恋に落ち常に寄り添うようになっていく ⑥ 創作バレエ「おしらさま」のクライマックス。繭からカイコがかえり、絹の精が空を飛びまわる幻想的で切なさが溢れるシーン



① 千石氏による独唱。澄んだ美声が会場に響き渡る ② 磯谷氏が発するたくましく力強い歌声は圧巻 ③ 白川氏はピアノソロを披露し来場者は美しい音色に聴き入った ④ ボイストレーニングでお世話になった千石氏と一緒に合唱する隊員ら ⑤ 父母会や家族も一緒にステージで合唱した ⑥ 3人のゲストと合唱隊講師に感謝を伝え花束を贈った ⑦ 発表会終了後はゲストと成功の喜びを分かち合った

SINCE 1988 遠野少年少女 合唱隊

ひとりひとりが地域の伝統を歌で継承する語り部
たくさんの人に支えられて歌い続けた30年

昭和62年に結成され今年で30周年を迎えた遠野少年少女合唱隊は11月12日、あえりあ遠野中ホールを会場に結成30周年記念発表会を開催しました。

第1部では、隊員が童謡や遠野地方に伝わる「わらべ歌」など11曲を披露。日頃の練習の成果を発揮した歌声に会場からは大きな拍手が贈られていました。

第2部では、合唱隊のボイストレーナーを務めたソプラノ歌手千石史子氏、バリトン歌手磯谷大樹氏、ピアニスト白川多紀氏が特別ゲストとして出演し、「帰れソレントへ」や「アリア 私を泣かせてください」などの名曲を披露し、プロならではの迫力ある美声で観客を魅了しました。

これまでの30年間で様々な活動を行い、多くの市民に愛されている遠野少年少女合唱隊。40周年に向けて更なる活躍が期待されます。

在住外国人郷土理解講座 秋深まる遠野を巡り理解を深める



▲重端溪で紅葉狩りを楽しむ参加者ら

は日本語指導や日本文化紹介を行っているボランティア団体「ばんご」のメンバー。参加者は、ふるさと村の曲がり家を見学し、「古いけれどもとても綺麗な建物ですね」と感想を述べていました。また、博物館では桶作りの映像を「すごく面白い！」と熱心に見入っていました。

生涯学習講座「男の料理教室」 3品調理で食卓のバリエーションを増やそう



▲和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく調理を行った

理を学びました。当日は、さんまを3枚におろして作る「さんまのかば焼き」や郷土料理「柳はっと汁」、「ぎんなんご飯」の3品を調理。参加者は最初緊張していましたが、調理が進むに連れて慣れた様子でした。家族にお土産を持って帰る方もいて楽しい教室になりました。

キッズワールドクラブ合同クリスマスパーティー 今年も1年間たくさん英語に触れました！



▲パーティーの最後はみんなで元気に集合写真！

本格的に英語を学習する前に楽しく英語に接することにより、抵抗感を無くすことを目的に年7回実施。今年度は4つのコースに46名の子ども達が参加し、最終回となった当日は、クリスマスにちなんだクイズやゲーム、クリスマスツリーの飾りつけなどを楽しみました。

10月29日、遠野在住のベトナム人やアメリカ人9名がふるさと村や市立博物館など秋の遠野を巡り、遠野の文化に理解を深めました。ガイド

11月19日、生涯学習講座「男の料理教室」を開催しました。市役所生協食堂の厨房で長年腕を振るった、菊池國昭氏を講師に招き11名が料理

市内の児童、未就学児を対象とし実施しているキッズワールドクラブの合同クリスマスパーティーを12月10日に開催しました。本事業は、

2017 ワン・ワールド・フェスタ in いわて チャタヌーガ市との友好関係を来場者に PR



▲アレックス国際化推進支援員と交流する来場者

県国際交流協会主催の「2017 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」が11月19日開催され、当財団が出展を行いました。今年度は、チャタヌーガ市との姉妹都市締結を記念し、チャタヌーガ特集のブースを出展。アレックス・ヒューイ国際化推進支援員の笑顔に惹き寄せられるように多くの方がブースを訪問しました。ブースでは、チャタヌーガ市の魅力紹介、遠野市との長い友好関係をPRしました。

第43回遠野物語ファンタジー旗揚げ会 『又吉のまた夢』の舞台成功を誓う



▲舞台に対する意気込みがキャスト全員から語られた

43回目の公演を迎える遠野物語ファンタジーの旗揚げ会が、12月8日に開催されました。今回の公演の題目は『又吉のまた夢』。楽をして一生過したいと願う主人公・又吉が舞台を奔走する奇想天外なストーリーです。当日は制作委員会をはじめキャスト、スタッフなど約100名が参加し、それぞれが公演にかける意気込みを発表しました。最後はファンタジーの歌を歌い、結束力と親睦を深めました。

少年少女ふるさと発見探偵団活動最終回 スラックラインでバランス感覚を競え！



▲幅5cmのベルトの上で絶妙なバランスで歩く団員

今年度最後の少年少女ふるさと発見探偵団活動が12月16日行われました。今回は、アメリカ発祥のスポーツ、スラックラインを体験しました。一本のベルトの上でバランスを取り技を競うスポーツですが、乗るだけで至難の業。バランス感覚が良い団員は、徐々にコツを掴むことができたようでした。午後はクリスマスケーキコンテスト。班ごとに工夫をこらしたケーキができました。

県国際交流協会主催の「2017 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」が11月19日開催され、当財団が出展を行いました。今年度は、チャタヌーガ市との姉妹都市締結を記念し、チャタヌーガ特集のブースを出展。アレックス・ヒューイ国際化推進支援員の笑顔に惹き寄せられるように多くの方がブースを訪問しました。ブースでは、チャタヌーガ市の魅力紹介、遠野市との長い友好関係をPRしました。

43回目の公演を迎える遠野物語ファンタジーの旗揚げ会が、12月8日に開催されました。今回の公演の題目は『又吉のまた夢』。楽をして一生過

今年度最後の少年少女ふるさと発見探偵団活動が12月16日行われました。今回は、アメリカ発祥のスポーツ、スラック

チョコレートファウンテン
おいしそう！

アメリカンフェスティバル 2017

たくさんのご来場ありがとうございました！！

エルヴィス・プレスリーものまねタレント
アーロン成清さん

テネシーといえばエルヴィスだ！

たくさんのお客さんに聴いてもらい嬉し
です！

カントリーミュージシャン
ロン・エルドリッジさん

カメラに向かってハイ、ポーズ！

レゲエミュージシャン・ベーシスト
KUUBOさん

welcome

岩手ビッグブルズチアチーム
チアリーディング

遠野少年少女合唱隊
オープニングステージ

アメリカンフェスティバル 2017

チャタヌーガ市との姉妹都市締結記念イベント

また、在札幌米国総領事館ハービー・ビーズリー領事にお越しいただき、両市の関係に関して温かいメッセージをいただきました。

当日は遠野少年少女合唱隊による合唱から始まり、チャタヌーガ市から来遠したロン・エルドリッジさんのカントリーミュージック演奏、レゲエの神様と称されるボブ・マリーに師事した日本を代表するレゲエアーティストのKUUBOさんとのセッション、エルヴィス・プレスリーものまねショー、岩手ビッグブルズのチアメンバーによるチアリーディングなどのステージイベントが開催されました。同会場内には、様々なアメリカ料理やデザートなどの販売ブースが立ち並び、たくさんの方で賑わいました。

また、在札幌米国総領事館ハービー・ビーズリー領事にお越しいただき、両市の関係に関して温かいメッセージをいただきました。

チャタヌーガ市と遠野市の姉妹都市締結を記念し、11月23日「アメリカンフェスティバル2017」(チャタヌーガ市との姉妹都市締結記念事業実行委員会主催)が開催されました。

1月5日市内の中学生がアメリカ合衆国テネシー州チャタヌーガ市に向けて出発します。中学生海外派遣交流事業は平成11年から開始し、今回で18回目になります。昨年9月15日のチャタヌーガ市と遠野市の姉妹都市締結後としては初の訪問団となります。

派遣生は昨年9月から6回の事前研修を行い準備してきました。派遣中はホームステイしながらCSAS校へ通学し、現地の生徒等と交流を深めながら、各自が決めた研修テーマの調査等を行います。研修の成果は、2月5日にあえりあ遠野中ホールで行われる中学生海外派遣交流事業報告会で発表します。

なお、今回の派遣期間中に本田敏秋遠野市長を団長とする訪問団がチャタヌーガ市を訪問することになっており、CSAS校では長年にわたる受入のお礼を伝え、派遣生の交流を視察する予定です。

派遣中の様子は、当財団のフェイスブックで随時ご紹介しますので、ぜひご覧ください。(フェイスブックの記事投稿は、現地時間と日本で時差が生じるため、不定期の更新となります)

中学生海外派遣交流事業 平成30年1月5日～17日

夢 希望 出会い チャタヌーガでたくさんの新しい発見を



▲志を共にする仲間と一致団結し海外派遣に臨む

チャタヌーガ市では、ホームステイなど初めての体験ばかりで不安もありますが、積極的にコミュニケーションを図り、ひとつひとつの出会いを大切に毎日過ごしたいです。自分の英語力向上や海外の文化を学び、しし踊りや神楽などの伝統芸能、遠野物語をアメリカで伝え、遠野の事をたくさん知ってもらいたいと思います。そして私自身も、日本とは異なる文化に触れることで、視野を広げて将来自分が何をしたら良いのか改めて考えることが出来る有意義な海外派遣にしたいと思っています。今回の派遣に参加するにあたって、家族や先生方、たくさんの仲間が応援し支えてくれました。この事に心から感謝し、一生懸命取り組んでいきます。



派遣生リーダー 遠野東中2年
阿部 光沙季さん

Information

第44回 遠野市教育文化振興財団顕賞式

教育文化の奨励や振興を図るため顕賞式を2部構成で開催します。第1部では、教育や文化、体育及び社会活動部門で活躍した個人や団体を讃えて表彰を行います。第2部は、功績のあった個人・団体の成果発表を行います。また、今回も生演奏によるBGMが式典を盛り上げます。どなたでも入場できますので、ぜひご来場ください。

▶日 時 平成30年2月17日(土) 13:30～

▶場 所 あえりあ遠野 交流ホール

▶入場料 無料

▶駐車場 市民センター／行政文書館／ハローワーク遠野／
行政センター／水道事務所／市役所西館庁舎

第43回市民の舞台遠野物語ファンタジー

又吉のまた夢 チケット好評発売中!

《あらすじ》

「一生楽して、暮らしたい。」と、遠野七観音の一つ、山谷観音に願掛けをし、観音様の使いだと言うトミに翻弄されながらも、少しずつ小銭を稼ぐ又吉。だが、一生楽して暮らすのにはほど遠い。一攫千金を狙って、導かれるまま小友金山の洞穴に入っていくが、そこで見たものは・・・？ 奇想天外なストーリーが舞台の上を走り抜ける。

- ▶主 催 遠野物語ファンタジー制作委員会
- ▶共 催 遠野市、遠野市教育委員会、遠野市教育文化振興財団
- ▶プレイガイド チケットぴあ(Pコード483-766) 0570-02-9999
とびあ／遠野風の丘／めがね橋直売所／みやもりホール／
市民センター／各地区センター／遠野市教育文化振興財団

第43回市民の舞台遠野物語ファンタジー

2月
24日(土)
25日(日)

開場／午後5時30分
開演／午後6時30分

開場／午前9時30分
開演／午前10時30分

開場／午後1時30分
開演／午後2時30分

また
きち
又吉のまた夢

脚本・演出 水内 新樹
演出補助 北澤 口
音楽監督 菅原 卓 梧

二幕十二場

入 場 料

一 般 1,300円
(当日1,500円)
高校生以下 600円
(当日800円)

遠野市民センター大ホール

